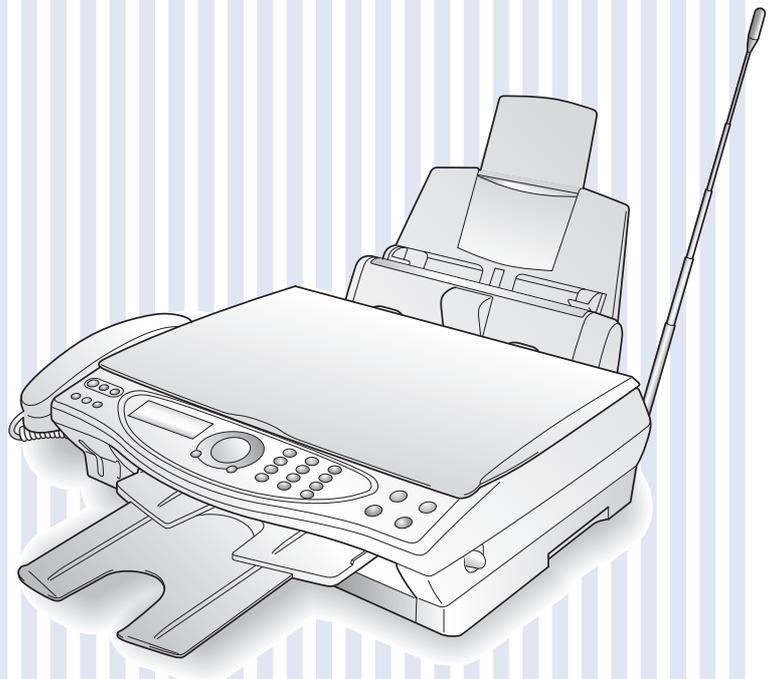
MFC-150CL/CLW かんたん設置ガイド

はじめにお読みください

Step1
付属品を取り付ける

Step2
設置・接続する

Step3
パソコンに接続する

準備完了

このたびは、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
当社商品をセッティングしていただくためにこのガイドをよくお読みください。
この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

お客様相談窓口
（市内通話料でOK）
NTTコミュニケーションズ ナビダイヤル
0570 - 031523

受付時間：月～金　午前9：00～午後6：00
土　午前9：00～午後5：00
日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。

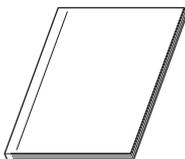
※上記番号がつながりにくいときは、「052 - 824 - 5149」にご連絡ください。

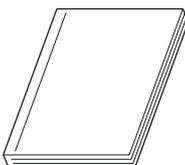
本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

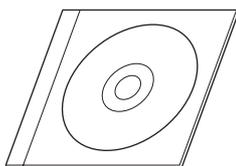
Version A

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

かんたん設置ガイド（本書）

必ず本書からお読みください。
本機をお使いいただくための準備について記載しています。

取扱説明書

電話、ファクス、コピー、デジカメプリント、本機のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。

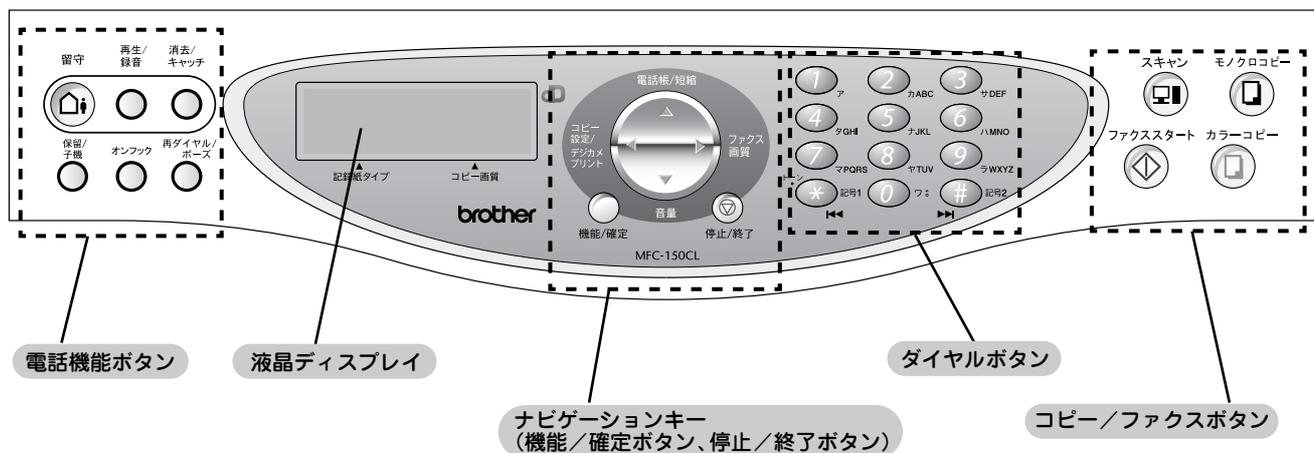
取扱説明書
～パソコン活用編～

「PDF マニュアル」が付属の CD-ROM に収録されています。
プリンタ、スキャナ、PC-FAX など、パソコンと接続して使う機能について記載しています。

本書のみかた

■ 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
（メモアイコン）	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
（矢印）	参照先などを記載しています。

各部の名称

詳細は、MFC-150CL/CLW 取扱説明書「各部の名称とはたらき」（18 ページ）をお読みください。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水場で使ってはいけないこと」を示しています。		

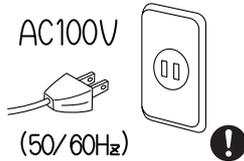
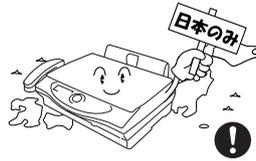
お願い

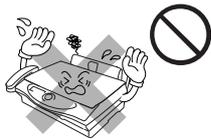
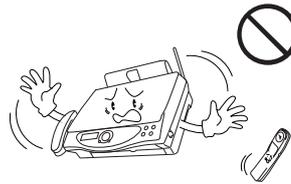
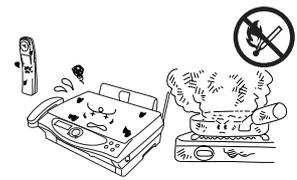
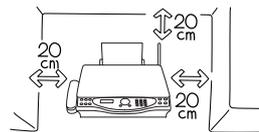
- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口　0570-031523」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（取扱説明書「電話帳リストを印刷する」(86 ページ)、「メモリー受信したファクスメッセージを印刷する」(98 ページ))。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（裏表紙）へご注文ください。

設置についてのご注意

⚠ 警告

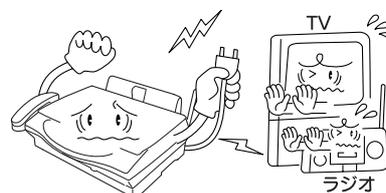
故障や変形、火災の原因になります。

● 電源は AC100V 、50Hz または 60Hz でご使用ください。 	● 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。 	● 子機のバッテリーは必ず専用のものをお使いください。 ● バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。 ● 専用の充電器を使用してください。

⚠ 注意

本機は以下の場所に設置しないでください。故障や変形、火災の原因になります。

● **湿度の高い場所** ふろ場や加湿器の近くなど 	● **温度の高い場所** 直射日光が当たるところ、暖房設備の近くなど 	● **不安定な場所** ぐらついた台の上や、傾いたところなど 	● **油飛びや湯気の当たるところ** 調理台の近くなど
● **いちじるしく低温な場所** 製氷倉庫など 	● **磁気の発生する場所** テレビ、ラジオ、スピーカー、コタツの近くなど 	● **壁のそば** 本機を正しく使用し性能を維持するために周囲の壁から 20cm はなす 	● **傾いたところ** 傾いたところに置くと正常に動作しないことがあります

- **温度が急激に変化するところ**
- **風が直接当たるところ**
  クーラーや換気口の近く
- **ほこりや鉄粉、振動の多いところ**
- **換気の悪いところ**
- **揮発性可燃物、カーテンに近いところ**

■ 電波障害があるときは

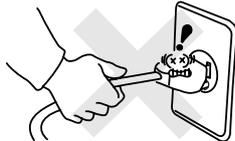
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生することがあります。
その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法で対処してください。

・ 本体をテレビから遠ざける
・ 本体またはテレビの向きを変える

電源についてのご注意

警告

火災や感電、やけどの原因になります。

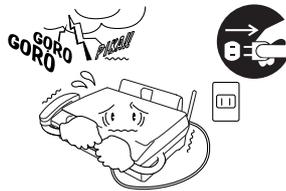
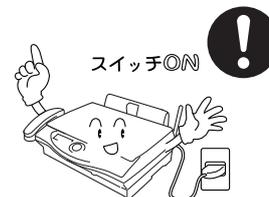
● ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

● 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

● 電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

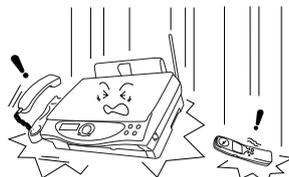
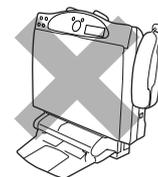
● タコ足配線はしないでください。

注意

火災や感電、やけどの原因になります。

● 雷がはげしいときは、電源コードや AC アダプタをコンセントから抜いてください。また、電話機コードを本機から抜いてください。
（電源プラグは抜きやすいところに差し込んでください。）

● 電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

■ その他

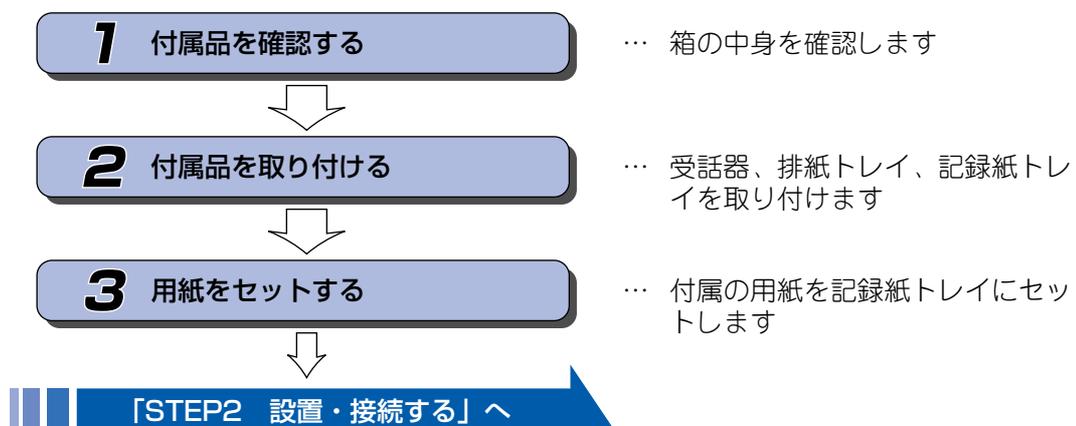
● 電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源はさけてください。
誤動作の原因となります。

● 落下、衝撃を与えないでください。

● 本機を立てて放置しないでください。
インクが漏れる場合があります。

● 本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

● 梱包されている部品は必ず取り付けてください。

目次

付属品を取り付ける

本機を箱から出し、付属品の確認や取り付けを行います。

… 箱の中身を確認します

… 受話器、排紙トレイ、記録紙トレイを取り付けます

… 付属の用紙を記録紙トレイにセットします

1 付属品を確認する

箱の中に下記の部品が揃っていることを確かめてください。本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一足りないものがあった場合、違うものが入っていた場合、破損していた場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口 0570-031523」にご連絡ください。

●受話器

●記録紙トレイ

●かんたん設置ガイド（本書）

●本体

●取扱説明書

●電話機コード

●排紙トレイ

●CD-ROM

●インクカートリッジ（4個）

●A4用紙（普通紙）

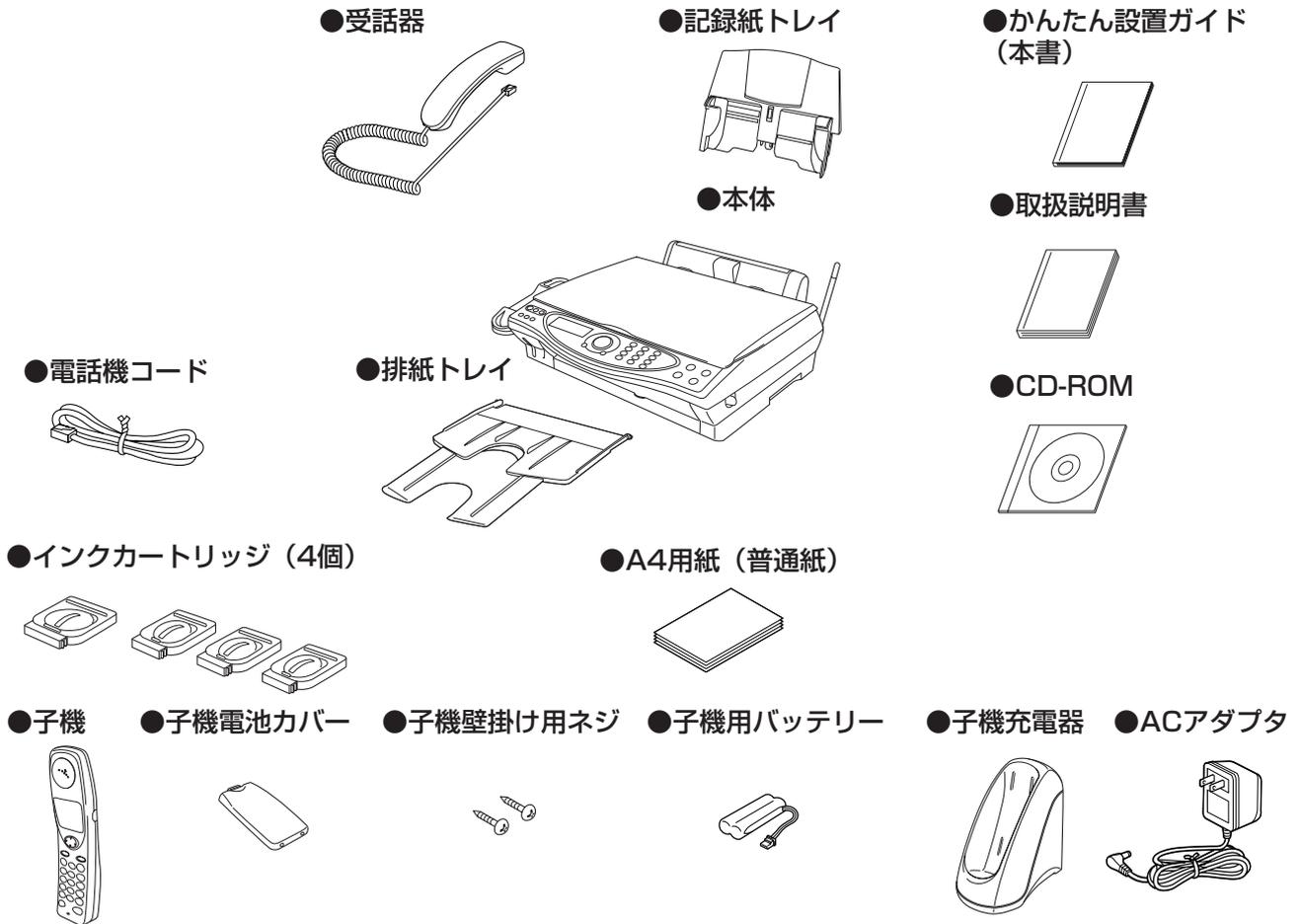
●子機

●子機電池カバー

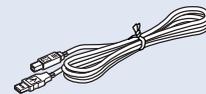
●子機壁掛け用ネジ

●子機用バッテリー

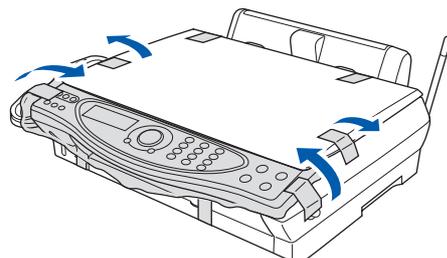
●子機充電器

●ACアダプタ

※MFC-150CLWには2台分の子機（および子機の付属品）が同梱されています。

お願い

■ USB ケーブルは別売品です。

■ 箱を開けたときは

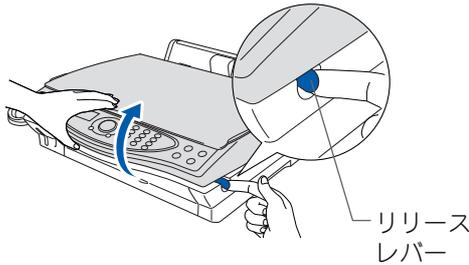
箱から本機を取り出したときは、シールやカバーを外してください。

また、箱や梱包材、保護カートリッジ（「インクカートリッジを取り付ける」（14 ページ））は廃棄せずに保管してください。

2 付属品を取り付ける

本機に排紙トレイ、記録紙トレイ、受話器などの付属品を取り付けます。

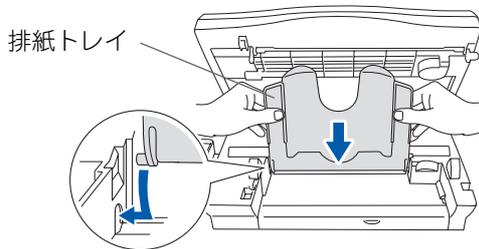
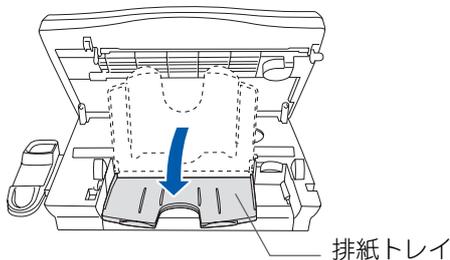
排紙トレイを取り付ける

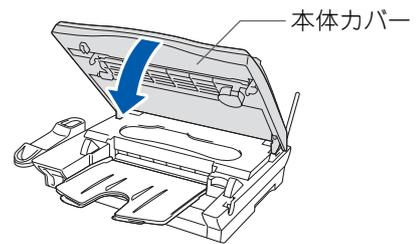
本機に排紙トレイを取り付けます。

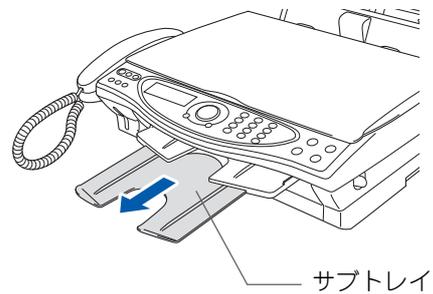
1 リリースレバーを引き、本体カバーを開ける

お願い

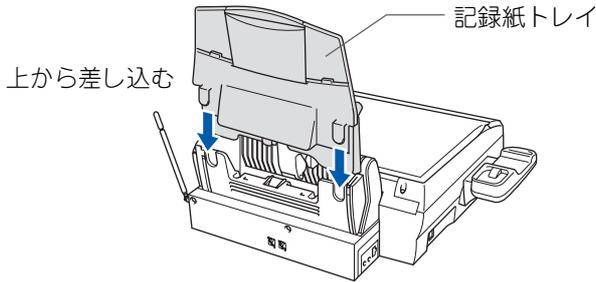
■ 本体カバーを開けたら、「保護シート」を取り除いてください。

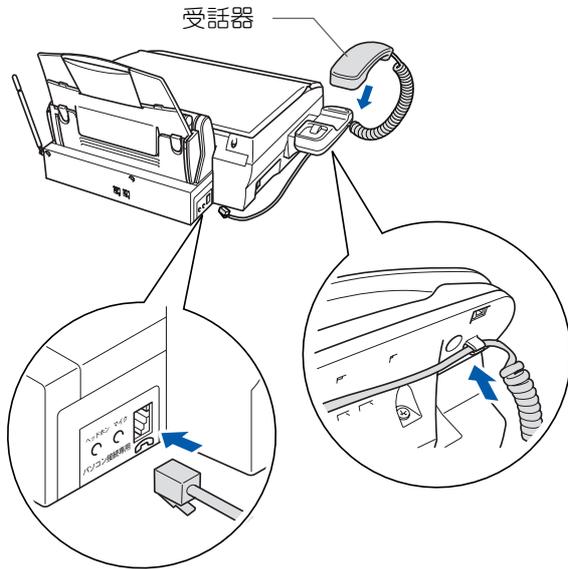
2 排紙トレイを、溝に合わせて押し込む

排紙トレイの両側の突起を本機の溝に合わせ、一番下まで押し込みます。

3 排紙トレイを手前に倒す

4 本体カバーを閉じる

リリースレバーが「カチッ」というまで、本体カバーをゆっくり閉じます。

5 サブトレイを引き出す

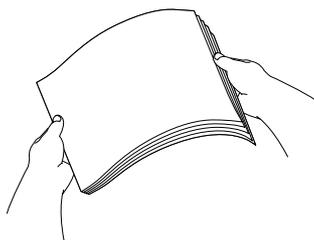
排紙トレイには、記録紙が排紙されます。印刷品質を保つために、セットした用紙のサイズに応じてサブトレイを引き出してください。

記録紙トレイを取り付ける

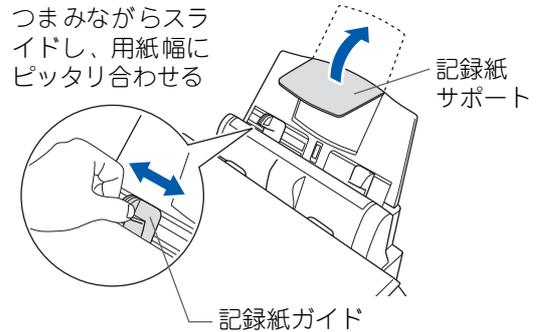
本機の記録紙挿入口に、記録紙トレイを上から差し込みます。

受話器を取り付ける

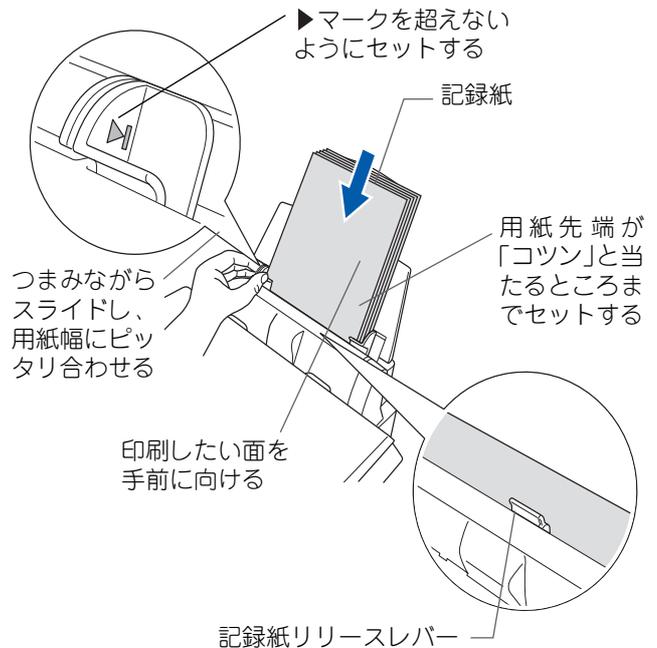
受話器を取り付け、本機に接続します。

記録紙をセットする

「印刷テスト」を行うために、記録紙トレイに付属の用紙（A4）をセットします。付属の用紙以外を使用するときは、使用できる用紙や用紙のセットのしかたについて、取扱説明書の「記録紙のセット」（21 ページ）をお読みください。

用紙をさばく

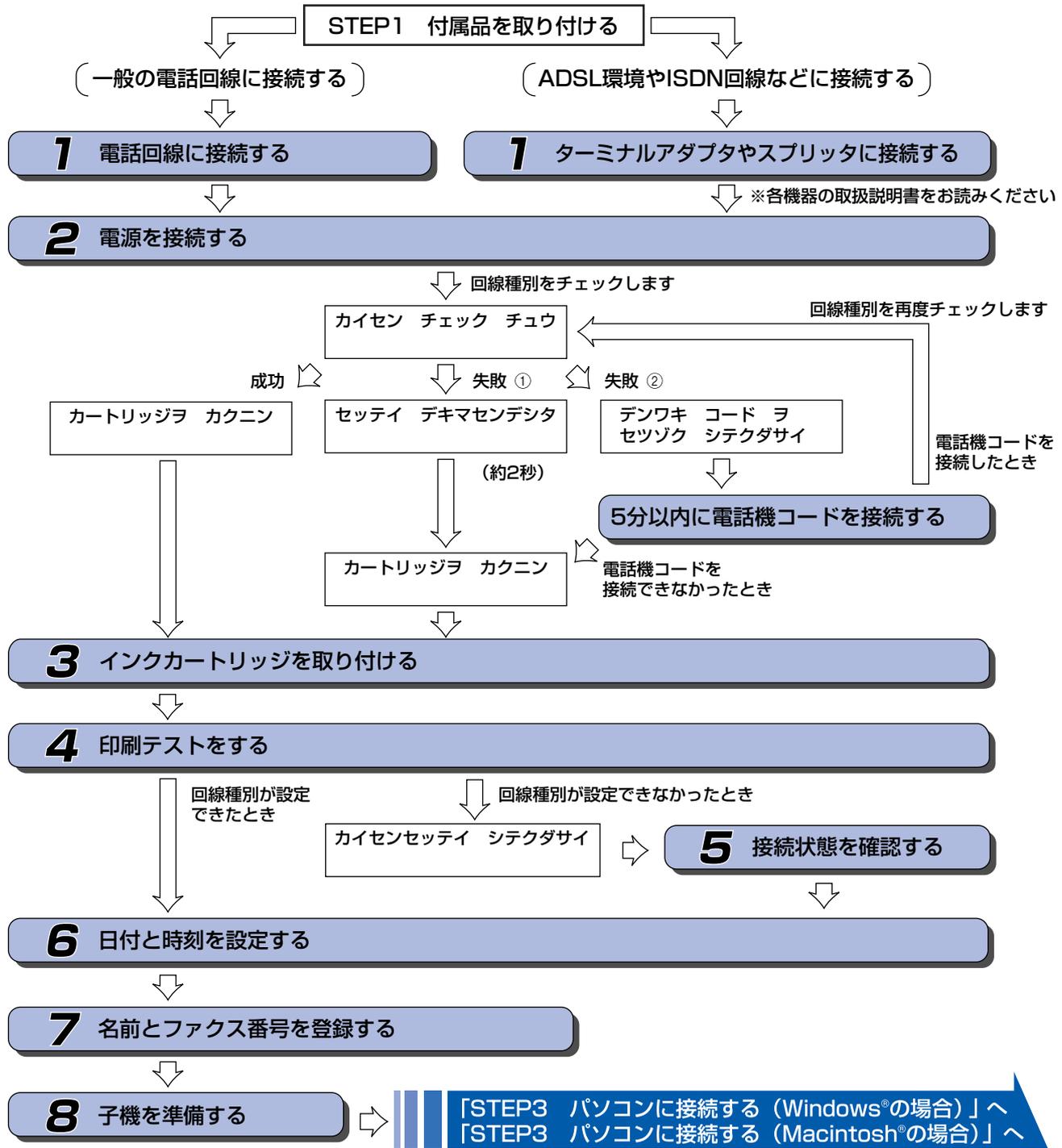
用紙詰まりを防ぐため、用紙をよくさばきます。

2 記録紙トレイの記録紙サポートを起こし、記録紙ガイドを用紙の幅に合わせる

セットした用紙のサイズに合わせて記録紙サポートを起こします。

3 記録紙をセットする

記録紙ガイドに合わせて、印刷面が見えるように記録紙をセットします。記録紙は矢印の位置までセットすることができます。

お願い

- 光沢紙をセットするときは、印刷面に直接手を触れないようにしてください。
- インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明をお読みください。
- 記録紙トレイにセットできる記録紙は、矢印の位置までです。矢印の位置より少ないことを確認してください。
- 記録紙を強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。
- 1 ～ 10 枚程度の少数の用紙をセットする場合は、記録紙トレイ中央の青いレバー（記録紙リリースレバー）を軽く押して用紙が奥までセットされていることを確認してください。

設置・接続する

本機の準備が終わったら、次は電話回線や電源に接続し、実際に印刷できるかどうかテストします。

STEP1　付属品を取り付ける

（一般の電話回線に接続する）

1 電話回線に接続する

（ADSL環境やISDN回線などに接続する）

1 ターミナルアダプタやスプリッタに接続する

※各機器の取扱説明書をお読みください

2 電源を接続する

回線種別をチェックします

カイセン　チェック　チュウ

回線種別を再度チェックします

成功 → カートリッジヲ　カクニン

失敗 ① → セッテイ　デキマセンデシタ

（約2秒）

カートリッジヲ　カクニン

失敗 ② → デンワキ　コード　ヲ　セツゾク　シテクダサイ

5分以内に電話機コードを接続する

電話機コードを接続したとき

電話機コードを接続できなかったとき

3 インクカートリッジを取り付ける

4 印刷テストをする

回線種別が設定できたとき

回線種別が設定できなかったとき

カイセンセッテイ　シテクダサイ

5 接続状態を確認する

6 日付と時刻を設定する

7 名前とファクス番号を登録する

8 子機を準備する

「STEP3　パソコンに接続する（Windows®の場合）」へ
「STEP3　パソコンに接続する（Macintosh®の場合）」へ

7 電話回線に接続する

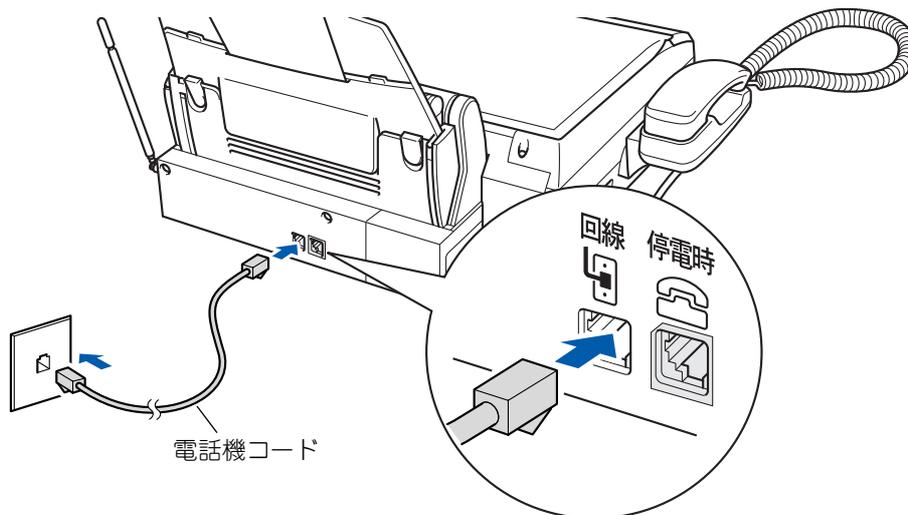
本機を一般の電話回線に接続します。

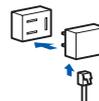
お願い

- ■ 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- ■ お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機がご使用できない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店または NTT 窓口（116 番）にご相談ください。

ここではまだパソコンと接続しません。
USB ケーブルは接続しないでください。

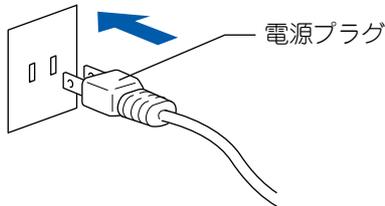
ISDN 回線、ADSL 環境などの回線に接続する場合は、「いろいろな接続について」（23 ページ）をお読みください。

1 付属の電話機コードを本機背面の「回線」端子と壁側の電話機コンセントに差し込む

付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りの NTT 窓口（116 番）にお問い合わせください。

2 電源を接続する

本機の電源プラグをコンセント（AC100V ）に差し込みます。電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入り、自動的に回線種別の設定が始まります。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

◆ **回線種別の自動設定が始まります。**

カイセン　チェックチュウ

◆ **自動設定が終わると、設定された回線種別が2秒間、ディスプレイに表示されます。**
- 「プッシュ　カイセン　デス」
- 「ダイヤル 10PPS デス」
- 「ダイヤル 20PPS デス」

◆ **回線種別が自動で設定されると、下記の画面が表示されます。**

カートリッジヲ　カクニン

引き続き、「インクカートリッジを取り付ける」（14 ページ）へ進みます。

「インクカートリッジを取り付ける」（14 ページ）

 構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。

回線によっては自動で正しく判別できないときがあります。そのときは、あとで手動で回線種別を設定してください。⇒「手動で回線種別を設定するときは」（18 ページ）

■ こんなメッセージが表示されたときは

(A)

デンワキ　コード　ヲ セツゾク　シテクダサイ

というメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。5 分以内に電話機コードを正しく接続してください。（12 ページ）

◆ 正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は「ダイヤル 20PPS」（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

(B)

セッテイ　デキマセンデシタ

（約 2 秒間）

カイセンセッテイ　シテクダサイ

というメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別が設定できません。このときは、インクカートリッジの取り付けと印刷テストが終わったあと、手動で回線種別を設定してください。⇒「手動で回線種別を設定するときは」（18 ページ）

3 インクカートリッジを取り付ける

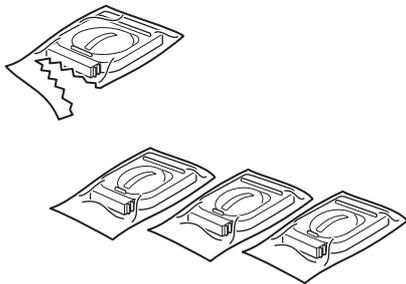
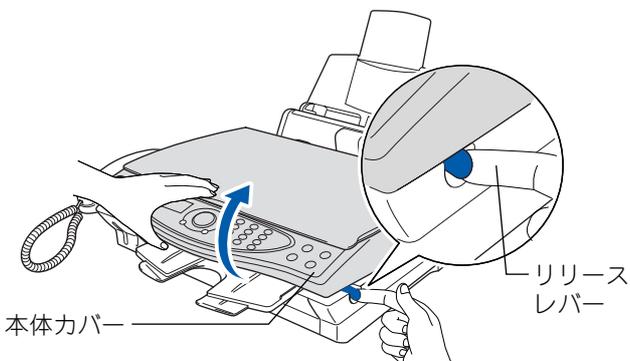
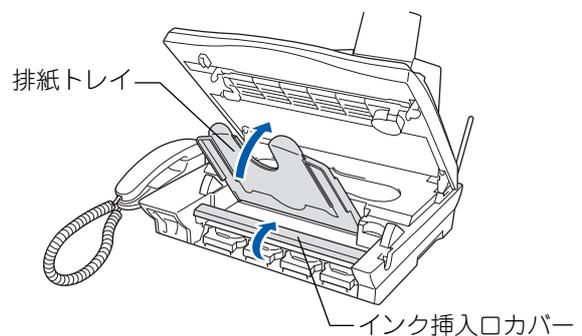
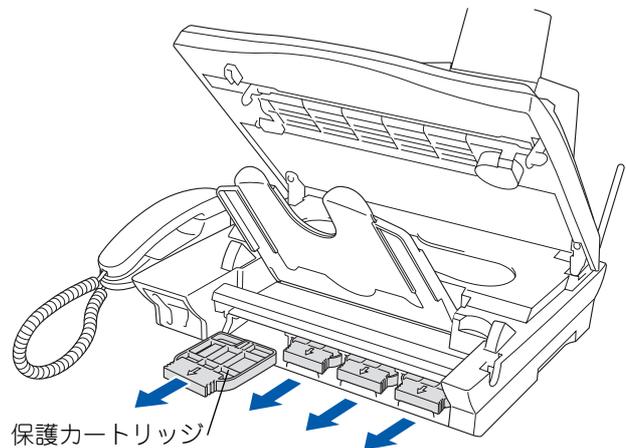
本機に、インクカートリッジを取り付けます。

回線種別の設定が終わると、下記の画面が表示されます。

カートリッジヲ　カクニン

記録紙がセットされていることをご確認ください。

1 インクカートリッジを準備する

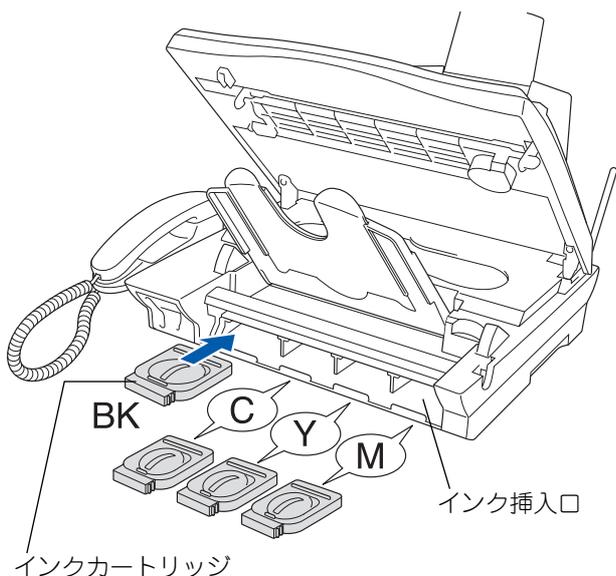
本機の付属品のインクカートリッジを開封します。

2 リリースレバーを引き、本体カバーを開ける

3 排紙トレイを起こし、インク挿入口のカバーを開ける

4 インク挿入口にセットされている保護カートリッジを抜き取る

お願い

■ 保護カートリッジは捨てないでください。本機を輸送する時に必要です。

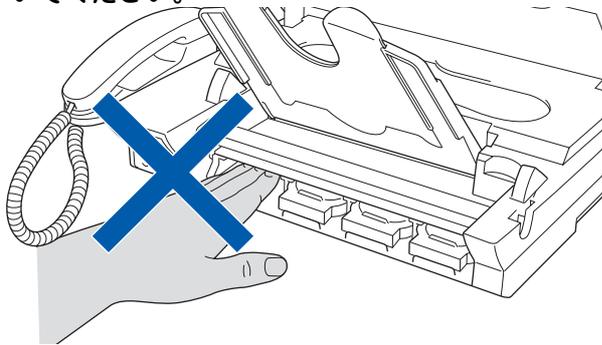
5 インクカートリッジをインク挿入口に差し込む

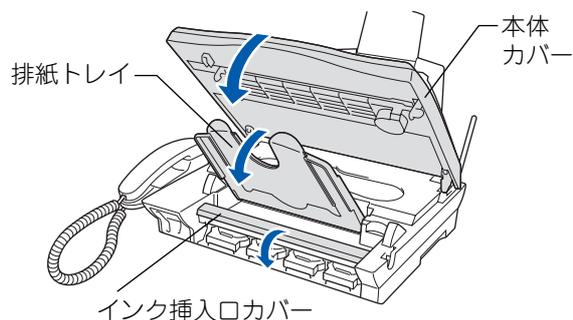
挿入口のシールとインクカートリッジの色を合わせて、「カチッ」という音がするまで押し込みます。

お願い

- インクカートリッジを何度も抜き差ししないでください。インクが漏れることがあります。
- インクカートリッジのフィルムをはがさないでください。

インクカートリッジは左から順に、ブラック（黒）→シアン（青）→イエロー（黄）→マゼンタ（赤）の順番で取り付けることをおすすめします。

注意

- インクカートリッジ挿入口に、手や異物を入れないでください。

6 インク挿入口カバー、排紙トレイ、本体カバーを閉じる

リリースレバーが「カチッ」というまで、本体カバーをゆっくり閉じます。

- 本体カバーを閉じると、自動的に約 4 分間、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

  クリーニング　チュウ
  デンゲンヲ　キラナイデ！

- クリーニングを行う音がしますが、異常ではありませんので、電源を切らないでください。

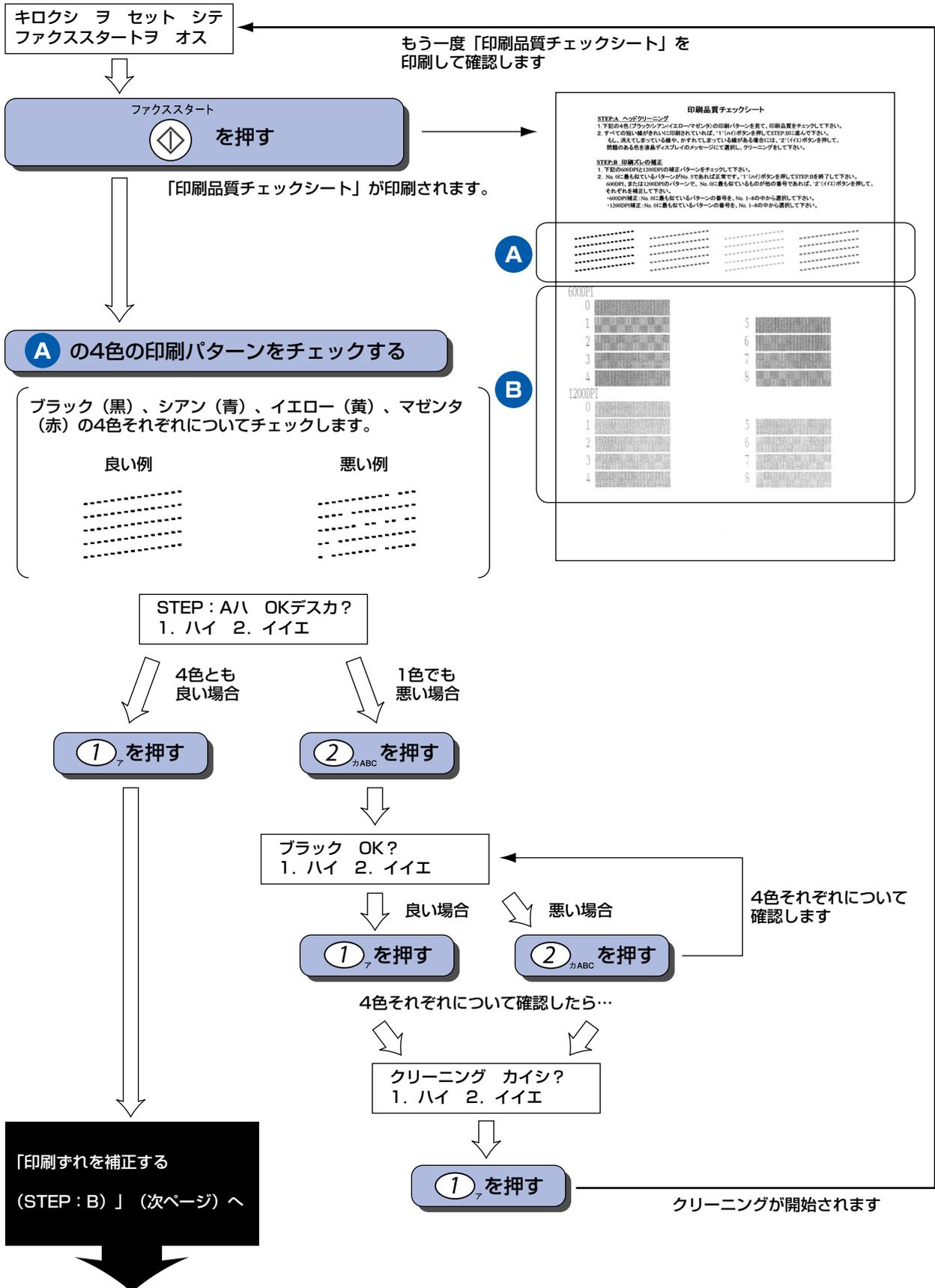
プリントヘッドのクリーニングが終わると、下記の画面が表示されます。

キロクシ　ヲ　セット　シテ
ファクススタートヲ　オス

引き続き、「印刷テスト」へ進みます。

「印刷テストをする」（16 ページ）へ

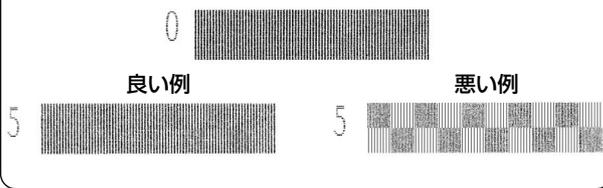
4 印刷テストをする

プリントヘッドのクリーニングが終わると、ディスプレイに“ファクススタートヲオス”と表示されます。以下の手順にしたがって、印刷品質（STEP:A）と印刷ズレ（STEP:B）のテストを行ってください。

（前ページつづき）

「印刷品質のチェック（STEP：A）」が終わると、液晶ディスプレイには“STEP：BハOKデスカ？”と表示されます。以下の手順にしたがって、印刷ズレを補正します。

B の縦縞パターンをチェックする

シートに印刷された600DPIと1200DPIの縦縞パターンをみて、それぞれ、「No.0」と最も似ているパターンが「No.5」であれば正常です。

良い例　　悪い例

STEP：Bハ OKデスカ？
1．ハイ　2．イイエ

「No.0」と最も似ているのが「No.5」のとき

「No.0」と最も似ているのが「No.5」以外のとき

1 を押す

2 を押す

600DPIノ　ホセイ
No.ヲ　センタクシテクダサイ

600DPIの縦縞パターン「No.0」に最も近い縦縞パターンの番号（1～8）を押す

1200DPIノ　ホセイ
No.ヲ　センタクシテクダサイ

1200DPIの縦縞パターン「No.0」に最も近い縦縞パターンの番号（1～8）を押す

印刷ズレが補正されました。これで、「印刷テスト」を終わります。

印刷テストをやり直したいときは、取扱説明書「印刷が汚いときは」（140 ページ）をお読みください。

5 接続状態を確認する

回線種別が正常に設定できたとき（エラーメッセージが表示されていないとき）は、「日付と時刻を設定する［時計セット］」（19 ページ）に進みます。

回線種別が設定できなかったときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されています。メッセージに応じた対処を行い、手動で回線種別を設定したあと、「6 日付と時刻を設定する［時計セット］」に進みます。

■ 回線種別が設定できなかったときは

(A) 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、以下のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。（12 ページ）

```
デンワキ　コード　ヲ
セツゾク　シテクダサイ
```

◆ 正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は「20PPS ダイヤル」（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

(B) 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、以下のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別が設定できません。このときは手動で回線種別を設定してください。

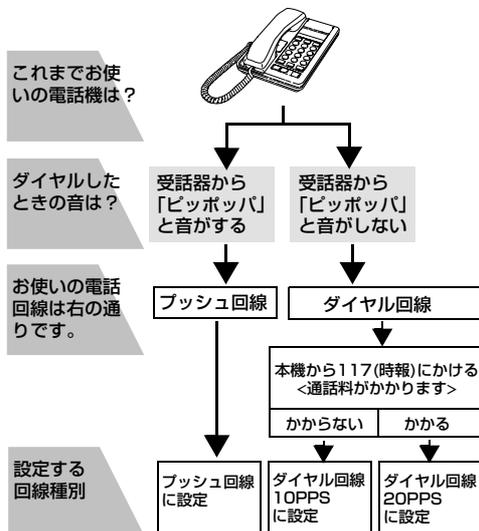
```
セッテイ　デキマセンデシタ
```

構内交換器（PBX ）、IP フォン、マンションアダプタ接続により失敗することがあります。

■ 手動で回線種別を設定するときは

自動で回線種別が設定できなかったときは、以下の操作で、回線種別を設定します。

(1) 利用している電話回線の種別を確認する

(2) 親機の 機能/確定 1 5 を押す

◆「キホンセッテイ　5. カイセンシュベツ セッテイ」と表示されます。

(3) ▲▼ で回線種別を選ぶ

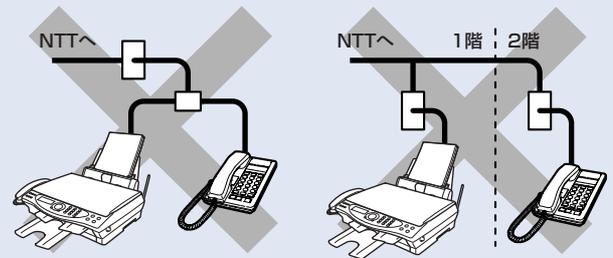
回線種別は、「プッシュカイセン／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS ／ジドウ　セッテイ」から選びます。

(4) 機能/確定 を押す

◆ 回線種別が設定されます。

お願い

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
- 並列電話機から親機や子機への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイ、などのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

6 日付と時刻を設定する [時計セット]

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 機能/確定 1ア 2カABC **を押す**

◆ **時刻を設定する画面が表示されます。**

キホン　セッテイ 2. トケイ　セット

2 **西暦の下 2 桁を入力し、機能/確定 を押す**

例：2003 年の場合は 0ワ 3サDEF を押します。

トケイ　セット ネン：2003

3 **月を 2 桁で入力し、機能/確定 を押す**

例：5 月の場合は 0ワ 5ナJKL を押します。

トケイ　セット ツキ：05

4 **日付を 2 桁で入力し、機能/確定 を押す**

例：3 日の場合は 0ワ 3サDEF を押します。

トケイ　セット ヒヅケ：03

5 **時刻を 24 時間制で入力し、機能/確定 を押す**

例：午後 3 時 25 分の場合は 1ア 5ナJKL 2カABC 5ナJKL を押します。

トケイ　セット ジコク：15：25

6 停止/終了 **を押す**

◆ **設定が終わり、ディスプレイに日付、時刻が表示されます。**

05/03　15：25 フツウシ　　　　ヒョウジュン

時刻はあくまで目安です。気になるときは、1 カ月おきに合わせ直してください。

■ 間違えて入力したときは

日付や時刻を間違えて入力したときは、停止/終了 を押して、初めから入力し直してください。

7 名前とファクス番号を設定する［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本機に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙に印刷されます。

   を押す

◆ 発信元登録の設定画面が表示されます。

```
キホン　セッテイ
3.　ハッシンモト　トウロク
```

2 ファクス番号を入力し、（機能/確定）を押す

20桁まで入力できます。

```
ハッシンモト　トウロク
ファクス：
```

3 名前を入力し、（機能/確定）を押す

```
ハッシンモト　トウロク
ナマエ：
```

4 （停止/終了）を押す

◆ 設定を終了します。

■ 発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) （機能/確定）（1ア）（3サDEF）**を押す**

◆ "ヘンコウ　1. スル　2. シナイ" が表示されます。

(2) （1ア）**を押す**

(3) **ファクス番号の先頭で（停止/終了）（機能/確定）を押す**

親機で入力できる文字

親機では下記の文字や記号を入力できます。ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1ア	アイウエオァィゥェォ１
2カABC	カキクケコＡＢＣ２
3サDEF	サシスセソＤＥＦ３
4タGHI	タチツテトッＧＨＩ４
5ナJKL	ナニヌネノＪＫＬ５
6ハMNO	ハヒフヘホＭＮＯ６
7マPQRS	マミムメモＰＱＲＳ７
8ヤTUV	ヤユヨャュョＴＵＶ８
9ラWXYZ	ラリルレロＷＸＹＺ９
0ワ：	ワヲン゛゜ー０
＊（トーン/記号1）	（スペース）！"＃＄％＆'（）＊＋，－．／
＃（記号2）	:;<＝>?@［］^_

文字の入れかた（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を削除する	（◀）を押して削除したい文字まで＿（カーソル）を移動し、（消去/キャッチ）（消去）を押す ※（停止/終了）を押すと、■（カーソル）以降の右側の文字をすべて削除します。
文字を変更する	（◀）を押して■（カーソル）を戻し、文字を入力する（上書きされます）
文字や電話番号の間を開ける（スペースを入れる）	（▶）を押して■（カーソル）を右に移動させる （文字のときは（＊）（１回押）でもスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（（＊）または（＃））を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	（▶）を押して■（カーソル）を１文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	（機能/確定）を押す

8 子機を準備する

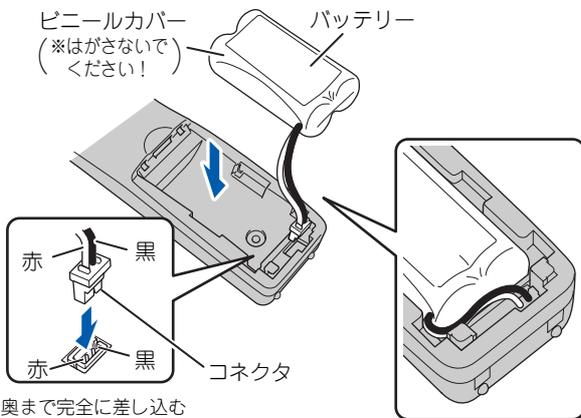
子機にバッテリーを取り付け、充電します。

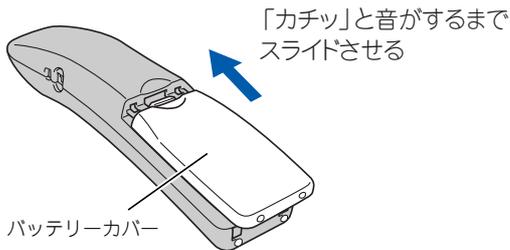
バッテリーをセットする

お願い

■ **バッテリーを覆っているビニールカバーをはがさないでください。**

1 コネクタの向きを下図にあわせて差し込み、バッテリーをセットする

奥まで完全に差し込む

2 カバーを閉じる

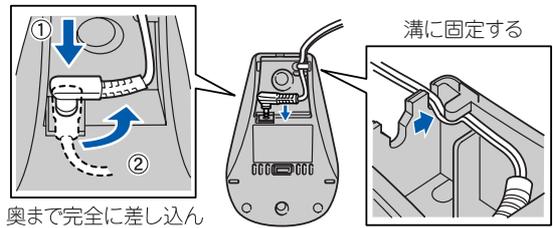
バッテリーコードを押し込みながら、「カチッ」と音がするまでスライドさせます。

※バッテリーのコードをはさまないように注意する。

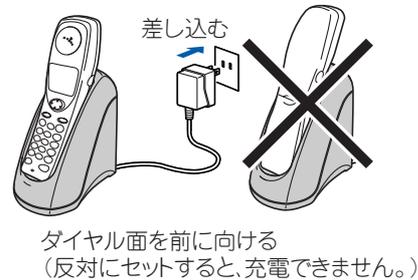
充電する

お願い

■ **はじめてお使いいただくときは、必ず 15 時間以上充電してください。**

1 AC アダプタの電源プラグを充電器に差し込む

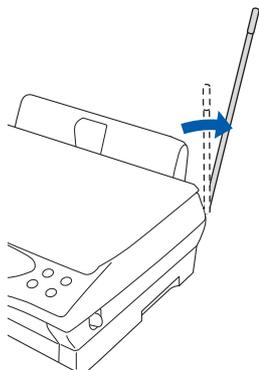
奥まで完全に差し込んでから（①）、横に回して上図のようにセットする（②）

2 AC アダプタをコンセントに差し込み、子機をセットする

ダイヤル面を前に向ける
（反対にセットすると、充電できません。）

お願い

■ **子機の AC アダプタは、携帯電話や PHS の充電器などと同じコンセントに接続しないでください。雑音が入り、子機が使用できないことがあります。**

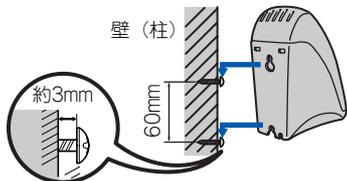
- 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示され、（切）が点灯します。購入時などバッリーの容量が少なくなっているときは、充電器にセットしても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示されなかったり、（切）が点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
- いっぱいまで充電されても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」の表示や（切）の点灯は消えませんが、そのまま充電を続けても問題はありません。
- 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり、子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。（取扱説明書「子機を清掃する」（134 ページ））
- 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約 1 年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート（取扱説明書 180 ページ）でお求めください。
- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

親機のアンテナをのばす

親機のアンテナをいっぱいまでのばす

建物の構造によって子機を使うと雑音が入ることがあります。そのときは通話しながら親機のアンテナの角度を調整してください。

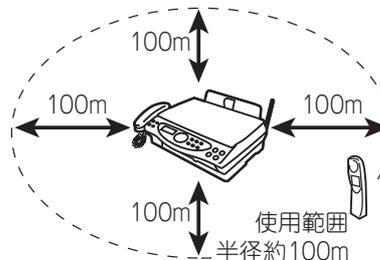
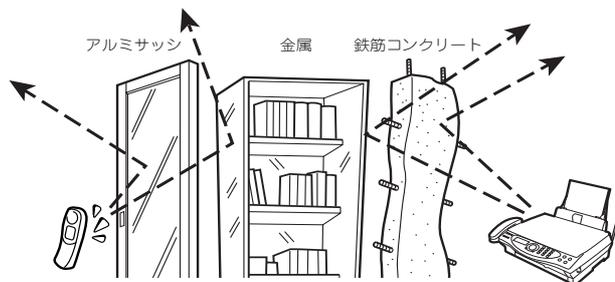
電波が極端に弱くなる場所では、子機のご使用を避けてください。

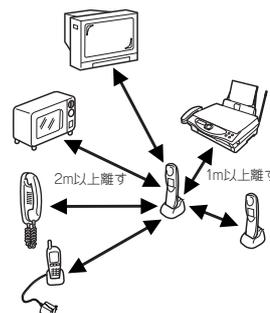
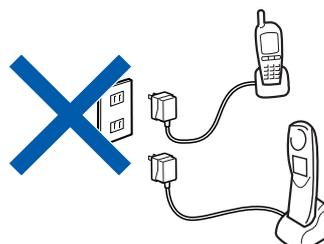
■ 壁にかけて使うときは

付属の壁かけ用木ネジ（2 本）を壁や柱に取り付けて充電器をセットしてください。

子機の設置場所を確かめる

子機を設置するときは以下のような点に注意してください。

● 親機から障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。

※ 親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

● 親機、子機を電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン、携帯電話やPHS の充電器や A C アダプタ、OA 機器など）から 2m 以上離して設置してください。

● 子機は親機や他の子機から 1m以上離して設置してください。

● 子機の AC アダプタは、携帯電話や PHS の充電器などと同じコンセントに接続しないでください。子機の着信音が鳴らなかったり、雑音が入り、子機が使用できないことがあります。

● 本機に他社の子機を増設することはできません。

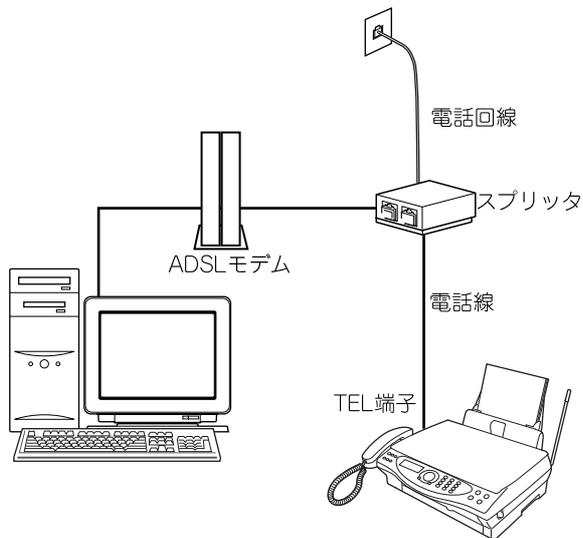
いろいろな接続について

本機に電話回線を接続する場合、使用方法に合わせて、いろいろな接続があります。以下に接続例を示します。他の機器の取扱説明書を参照して、正しく接続してください。

ADSL 環境に接続する場合

本機を ADSL 環境のスプリッタに接続するときは、スプリッタの TEL 端子に接続してください。

お願い

- ■ **ADSL 環境に接続する場合の設定については、スプリッタの取扱説明書をお読みください。**
- ■ **本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると並列接続となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。**
- ■ **スプリッタに接続した状態で、電話がかけられること、または受けられることを確認してください。（取扱説明書「第 2 章　電話」（39 ページ））**
- ■ **ADSL 環境で IP フォンをしている場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒「手動で回線種別を設定するときは」（18 ページ）**

お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。

ISDN 回線に接続する場合

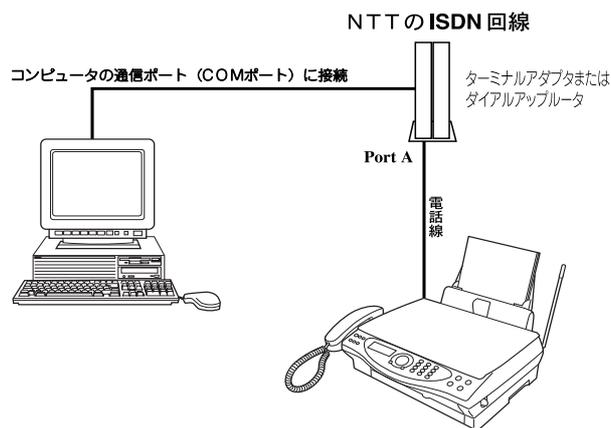
本機を ISDN 回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

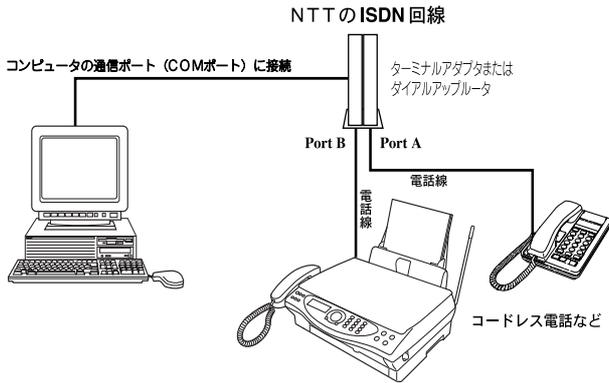
- 本機：
  回線種別を「カイセン：プッシュ」に設定する
- ターミナルアダプタ ：
  本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

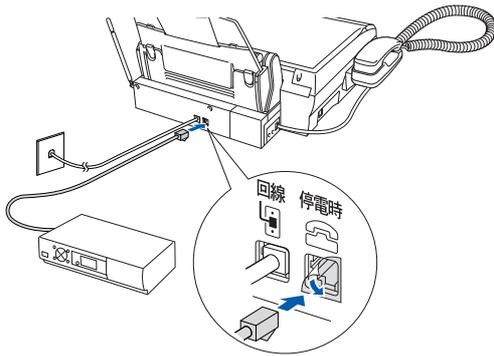
お願い

- ■ **ISDN 回線に接続する場合の設定については、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をお読みください。**
- ■ **本機が使用できないときは、「故障かな？と思ったら」を参照ください。また、ターミナルアダプタ の設定を確認してください。ターミナルアダプタ の設定の詳細は、ターミナルアダプタ の取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。**
- ■ **ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ のデータ設定と本機の設定（ 取扱説明書「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」（54 ページ ））が必要です。**

■ 電話番号が 1 つの場合

本機を、ISDN 回線とパソコンに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

■ 電話番号が2 つの場合

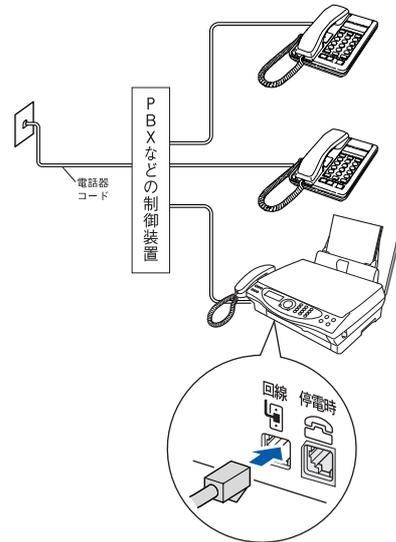
本機を、ISDN 回線とパソコンに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

CS チューナーに接続する場合

本機とCS チューナーを接続するときは、「停電用電話機接続端子」に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンに接続する場合

構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。

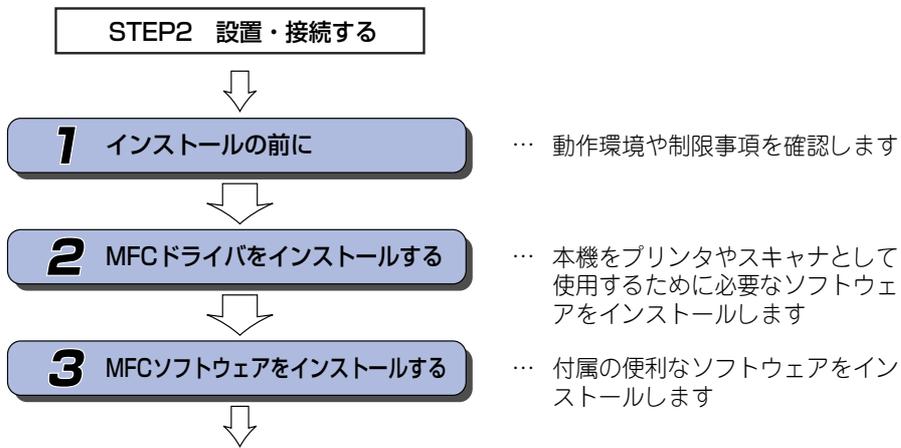
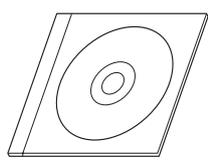
設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。また、接続する場所によっては「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれないので、「OFF」に設定してください。（取扱説明書「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」（54 ページ））

お願い

■ 構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンでIP フォンをしている場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒「手動で回線種別を設定するときは」（18 ページ）

ビジネスホンとは
電話回線を2 本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは
電話回線1 本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。

パソコンに接続する（Windows® の場合）

本機をパソコン（Windows® 機）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。（Macintosh® をお使いの方は、「STEP3　パソコンに接続する（Macintosh® の場合）」をお読みください。）

… 動作環境や制限事項を確認します

… 本機をプリンタやスキャナとして使用するために必要なソフトウェアをインストールします

… 付属の便利なソフトウェアをインストールします

プリンタ、スキャナなどの各機能の使いかたについては、付属のCD-ROMに収録されている「取扱説明書～パソコン活用編～」をお読みください。

1 インストールの前に

本機をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、プリンタドライバやスキャナドライバ、といったドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境を確認してください。

ドライバとは、本機をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

CD-ROM の内容

この CD-ROM には、本機を正しく使用するために必要な以下のソフトウェアが収録されています。

■ MFC ドライバ

プリンタドライバ
本機をプリンタとして使用するときに必要です。
スキャナドライバ
本機をスキャナとして使用するときに必要です。
PC-FAX ソフトウェア
パソコンからファクスを送るときに使用するソフトウェアです。
リモートセットアップ
パソコンから本機の設定を行うときに使用するソフトウェアです。

■ MFC ソフトウェア

ScanStation
スキャナ機能を使用するための入り口となるソフトウェアです。
Brother 日本語 OCR
画像データとして取り込んだ文字情報を ,編集可能なテキストデータとして、TXT 、RTF のファイル形式で保存することができます。（漢字、仮名（ひらがな、カタカナ）、アルファベット、アラビア数字および図表を伴うドキュメントなどが認識可能です。）
Presto! ImageFolio
画像を編集するためのソフトウェアです。

■ ボーナスソフトウェア

ボーナスフォント
ブラザーオリジナルの和文書体が収録されています。
TransLand J 体験版
ブラザーオリジナルの英日･日英翻訳ソフトウェアです。
Adobe Acrobat Reader
CD-ROM に収録されている各種の取扱説明書を読むときに使用するソフトウェアです。

動作環境

本機とパソコン（Windows®）を接続する場合、パソコン側では以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリー
Windows® 98 · 98SE/ Pentium75MHz以上/24MB（推奨32MB）以上 Windows® Me/ Pentium150MHz 以上 /32MB （推奨 64MB）以上 Windows® 2000/ Pentium133MHz 以上 /64MB（推奨 128MB）以上 Windows® XP/ Pentium ファミリー233MHz 以上 /64MB（推奨 128MB）以上
ディスク容量
500MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
インターフェース
USB のみ ※ USB ケーブルは別売りです。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。

お願い

■ **Windows® 2000 をお使いの場合は、フォトメディアキャプチャで本機をリムーバブルディスクとして使用するために、最新の Windows® 2000 にアップデートする必要があります。（アップデートは、本機に付属している CD-ROM から行うことができます。）**

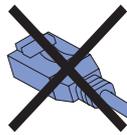
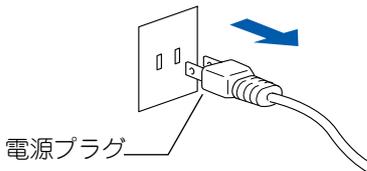
2 MFC ドライバをインストールする

以下の手順で「MFC ドライバ」をインストールします。

お願い

- インストールをする前に、「STEP1　付属品を取り付ける」「STEP2　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- インストール中にエラーメッセージが表示された場合、または以前に「MFL-Pro」をインストールしたことがある場合は、いったん、「MFL-Pro」をアンインストールしてください。([スタート] メニュー -[プログラム]-[Brother]-[MFL-Pro]-[アンインストール] の順に選択し、画面の表示に従ってください。)
- アンインストールや最新の技術情報は、CD-ROM に収録されている「README」をお読みください。
- インストールに関する問題が発生した場合は、「http://solutions.brother.co.jp」にアクセスしてください。

共通操作

ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

1 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントから外す

2 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンします。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデル名を選択する画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。

◆ メイン画面が表示されます。

お願い

- 画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

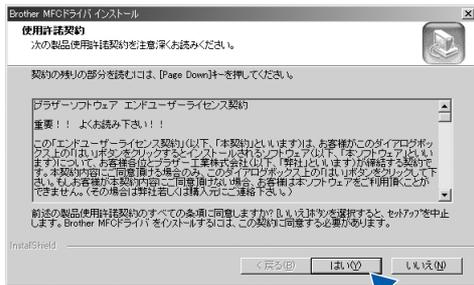
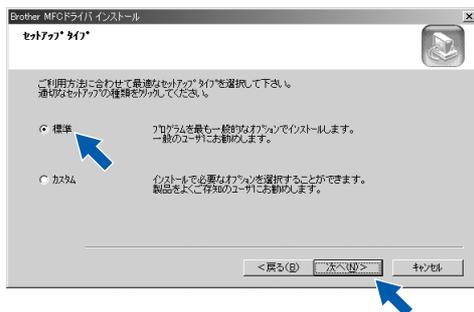
4 「インストール」をクリックする

5 「MFC ドライバ」をクリックする

お願い

- Windows® 2000 をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、 Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

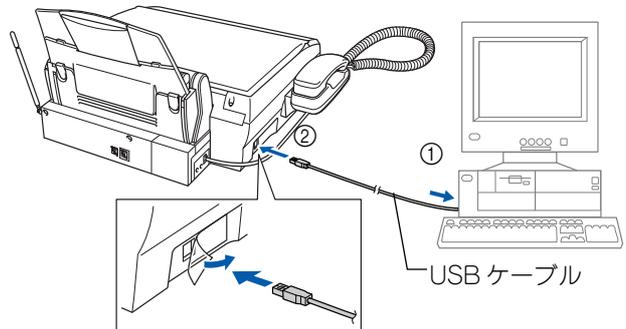
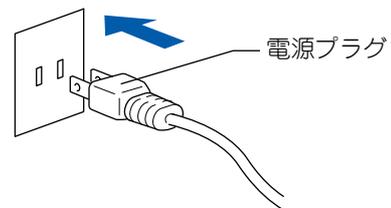
6 [次へ] をクリックする

7 内容を確認し、[はい] をクリックする

8 「標準」を選択し、[次へ] をクリックする

- ◆ Windows® XP をお使いの場合は、ウインドウが何度も開く場合もありますが、そのまましばらくお待ちください。
- ◆ 数秒後、パソコンにケーブル接続の画面が表示されます。

（Windows® XP の場合）

- ◆ Windows® XP をお使いの場合は、ディスプレイが何度もついたり消えたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

9 本機（MFC-150CL/CLW）とパソコンを USB ケーブルで接続する

まず、パソコンに USB ケーブルを接続します (①)。次に、本機（MFC-150CL/CLW）にUSB ケーブルを接続します (②)。

10 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントに差し込む

- ◆ 本機に電源が入ります。
- ◆ 電源プラグを接続すると、インストールが開始されます。

以降の操作は、お使いのパソコンによって異なります。

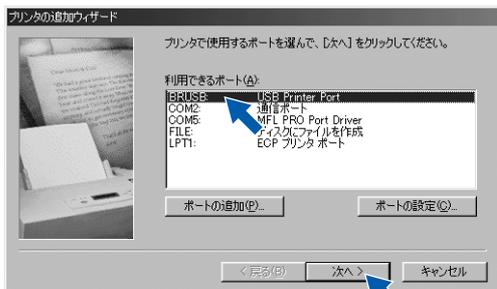
A）Windows® 98/98SE/Me の場合（29 ページ）

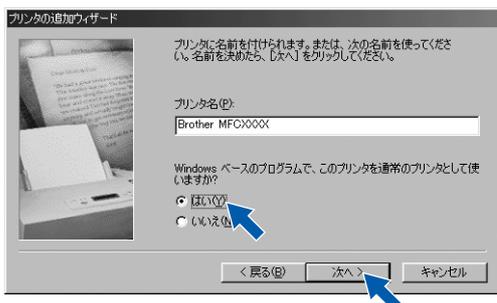
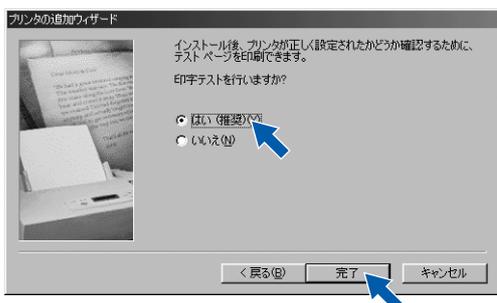
B）Windows® 2000 の場合（30 ページ）

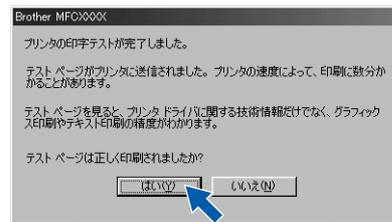
C）Windows® XP の場合（30 ページ）

A）Windows® 98/98SE/Me の場合

共通操作 ❶ ～ ❿ の後、以下の操作を行います。

11 「BRUSB Printer Port」を選び、[次へ] をクリックする

12 プリンタ名を確認し、「はい」をクリックし、続けて [次へ] をクリックする

必要に応じてプリンタ名を変えることができます。

13 「はい」をクリックし、続けて [完了] をクリックする

◆ テストページが印刷されます。

14 テストページが印刷されたことを確認し、[はい] をクリックする

◆ 「README」および手順 15 の完了画面が表示されたときは、テストページの印刷終了後、「README」を閉じ、「完了」をクリックしてください。

15 [完了] をクリックする

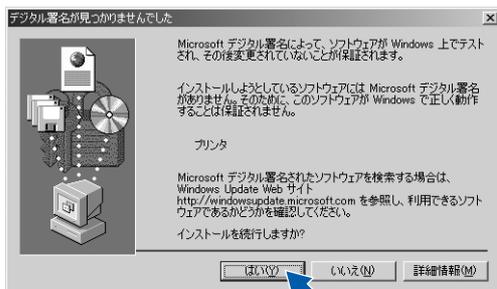
「MFC ドライバ」のインストールが終わりました。パソコンが再起動しますので、引き続き「MFC ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

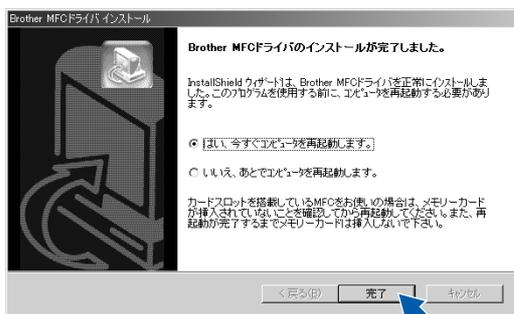
「MFC ソフトウェアをインストールする」（31 ページ）へ

B）Windows® 2000 の場合

共通操作 ❶ ～ ❿ の後、以下の操作を行います。

11 [はい] をクリックする

12 [はい] をクリックする

◆「はい」をクリックすると、「README」が表示されますので、お読みになったあと、閉じてください。

13 [完了] をクリックする

「MFC ドライバ」のインストールが終わりました。

パソコンが再起動しますので、引き続き「MFC ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

「MFC ソフトウェアをインストールする」(31 ページ) へ

C）Windows® XP の場合

共通操作 ❶ ～ ❿ の後、以下の操作を行います。

◆ 共通操作 ❶ ～ ❿ を行うと、自動的に MFC ドライバがインストールされます。（その間、ウインドウが何度も開いたり、ディスプレイがついたり消えたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

11 [完了] をクリックする

◆ インストールが終了すると、「README」が表示されますので、お読みになったあと、閉じてください。

「MFC ドライバ」のインストールが終わりました。

パソコンが再起動しますので、引き続き「MFC ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

「MFC ソフトウェアをインストールする」(31 ページ) へ

こんなときは

■ エラーメッセージが表示されたときは

インストールに失敗すると、画面にエラーメッセージが表示されます。この場合は、パソコン側でエラーの対処をしたあと、[スタート] メニュー -[プログラム]-[Brother]-[Brother MFC]-[アンインストール] の順に選択し、いったんドライバをアンインストールし、再度初めからインストールし直してください。

■ アンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、[スタート] メニュー -[プログラム]-[Brother]-[Brother MFC]-[アンインストール] の順に選択し、画面の表示に従ってください。

※ アンインストール」が起動しないときは、プリンタフォルダから「MFC150CL」を削除して、再度インストールし直してください。

3 MFC ソフトウェアをインストールする

「MFC ドライバ」のインストール後、引き続き「MFC ソフトウェア」をインストールします。

お願い

- ■「MFC ドライバ」がインストールされていないと「MFC ソフトウェア」は使用できません。必ず、「MFC ドライバ」がインストールされていることを確認してください。
- ■ 本機のスキャン機能を活用するには、以下の「MFC ソフトウェア」をインストールする必要があります。
  - ・ScanStation
  - ・Brother 日本語 OCR
  - ・Presto！ ImageFolio
- ■ インストールに関する問題が発生した場合は、「http://solutions.brother.co.jp」にアクセスしてください。

MFC ソフトウェアのインストール

以下の手順で付属のソフトウェアをインストールします。「MFC ドライバ」のインストール手順に引き続きインストールするときは、パソコンの再起動後、いったん、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出します。

1 付属の CD- ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

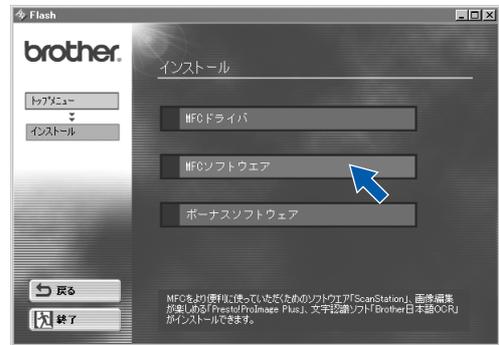
モデル名を選択する画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。

◆ メイン画面が表示されます。

お願い

- ■ 画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「インストール」をクリックする

3 「MFC ソフトウェア」をクリックする

◆ MFC ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

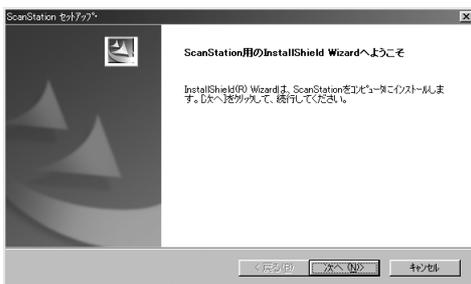
画面を開いたときは、すべてのソフトウェアのチェックボックスがチェックされています。

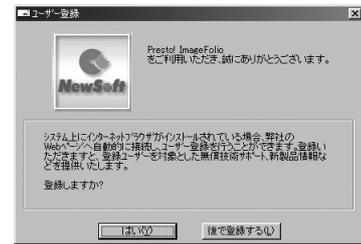
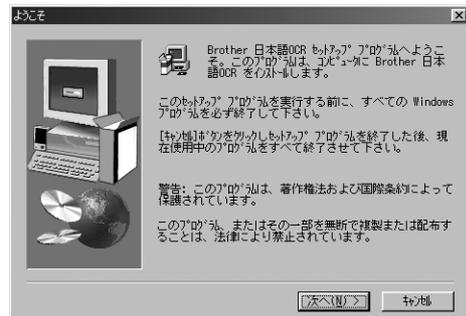
［次へ］をクリックする

◆「ScanStation」のインストール画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックし、画面の指示にしたがって「ScanStation」をインストールする

◆「ScanStation」のインストールが完了すると、「Presto! ImageFolio」のインストール画面が表示されます。

6 ［次へ］をクリックし、画面の指示にしたがって「Presto! ImageFolio」をインストールする

◆「Presto! ImageFolio」のインストールが完了すると、「Brother 日本語 OCR」のインストール画面が表示されます。

「Presto! ImageFolio」をインストールする場合は、「ユーザー登録」の画面が表示されます。すぐに「ユーザー登録」をしたときは、登録終了後、自動的にインストールが続行されます。

7 ［次へ］をクリックし、画面の指示にしたがって「Brother 日本語 OCR」をインストールする

8 ［完了］をクリックする

「MFC ソフトウェア」のインストールが終わりました。
本機で MFC ソフトウェアをお使いいただくことができます。

「この続きは…」（40 ページ）へ

お願い

■ アンインストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から行います。（［スタート］メニュー -［プログラム］-［各アプリケーションの「アンインストール」］を起動して削除することもできます。）

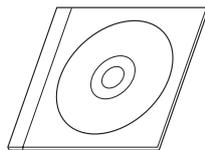
パソコンに接続する（Macintosh® の場合）

本機をパソコン（Macintosh®）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。（Windows® をお使いの方は、「STEP3　パソコンに接続する（Windows® の場合）」をお読みください。）

… 動作環境や制限事項を確認します

… 本機をプリンタやスキャナとして使用するために必要なソフトウェアをインストールします

… 付属の便利なソフトウェアをインストールします

プリンタ、スキャナなどの各機能の使いかたについては、付属のCD-ROMに収録されている「取扱説明書～パソコン活用編～」をお読みください。

1 インストールの前に

本機を Macintosh® と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、プリンタドライバやスキャナドライバ、といったドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境を確認してください。

ドライバとは、本機をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

CD-ROM の内容

この CD-ROM には、本機を正しく使用するために必要な以下のソフトウェアが収録されています。

■ MFC Installer

プリンタドライバ
本機をプリンタとして使用するときに必要です。
スキャナドライバ（TWAIN ドライバ）
本機をスキャナとして使用するときに必要です。
PC-FAX ソフトウェア
パソコンからファクスを送るときに使用するソフトウェアです。
ScanStation
スキャナ機能を使用するための入り口となるソフトウェアです。（OCR 機能を含みます。）
リモートセットアップ（OS X10.1 ～10.2 のみ）
パソコンから本機の設定を行うときに使用するソフトウェアです。
Presto! ImageFolio
画像を編集するためのソフトウェアです。

■ その他のファイル

Brother Solutions Center
インターネット経由で MFC の最新情報を見たり､最新データのダウンロードをすることができる Web サイトへリンクします。
Read Me
重要な情報とトラブルシューティングのヒントをえることができます。
Documents
本機の取扱説明書を見ることができます。
Fonts
ブラザーオリジナルの和文書体が収録されています。

動作環境

本機とパソコン（Macintosh®）を接続する場合、パソコン側では以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリー
Mac OS 8.6 ～ 9.2 Mac OS X 10.1 ～ 10.2
ディスク容量
400MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
インターフェース
USB 標準搭載モデルのみ ※ USB ケーブルは別売りです。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

お願い

- **■ Mac OS 9.0.2/9.0.3 をお使いの場合は、Mac OS 9.0.4 にアップグレードしてください。**
- **■ Mac 10.2 をお使いの場合は、Mac OS 10.2.1 以上へのアップグレードが必要となります。**

■ OS 対応表

お使いいただいているパソコンの OS によって、本機で使用できる機能が異なります。

機能 ＼ OS	8.6 ～ 9.2	10.1	10.2.1 以上
プリンタドライバ（＊ 1）	○	○	○
スキャナドライバ	○	×	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○	○
ScanStation（＊ 1）	○	○	○
リモートセットアップ	×	○	○
Presto! ImageFolio	○	○	○

（＊ 1）一部の機能は対応していません。詳しくは、「取扱説明書（パソコン活用編）」をお読みください。

2 MFC ドライバをインストールする

以下の手順で「MFC ドライバ」をインストールします。

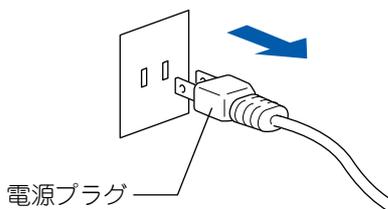
お願い

- インストールをする前に、「STEP1　付属品を取り付ける」「STEP2　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- インストール中にエラーメッセージが表示された場合、または以前に「MFC ドライバ」をインストールしたことがある場合は、いったん、「MFC ドライバ」をアンインストールしてください。([スタート] メニュー -[プログラム]-[Brother]-[Brother MFC]-[アンインストール] の順に選択し、画面の表示に従ってください。)
- アンインストールや最新の技術情報は、CD-ROM にある「README」をお読みください。
- インストールに関する問題が発生した場合は、「http://solutions.brother.co.jp」にアクセスしてください。
- Macintosh® ユーザーの方は、「QuickDraw® ドライバ」をインストールする必要があります。

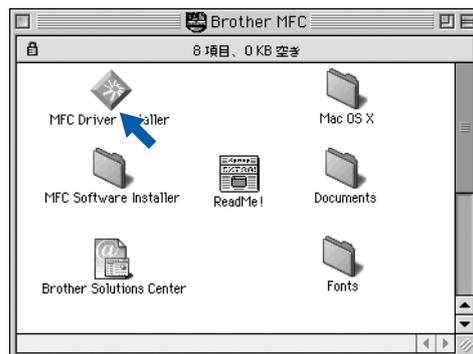
インストールの手順は、お使いの OS によって異なります。
A）Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合（35 ページ）
B）Mac OS X 10.1 ～ 10.2 の場合（37 ページ）

A) Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合

ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

1 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントから外す

2 Macintosh® の電源を入れる

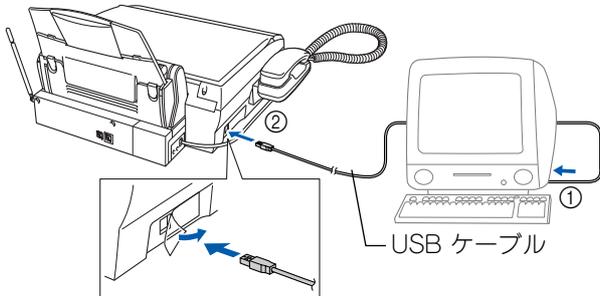
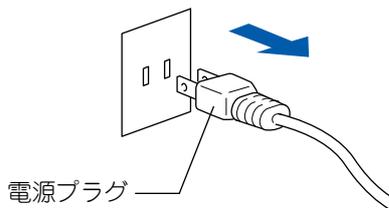
3 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

4 「MFC Driver installer」をダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

◆ インストールが終わると、Macintosh® の再起動を指示する画面が表示されます。

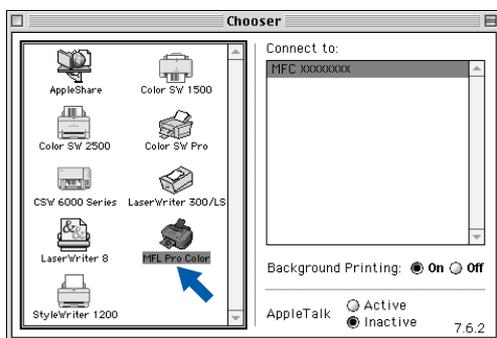
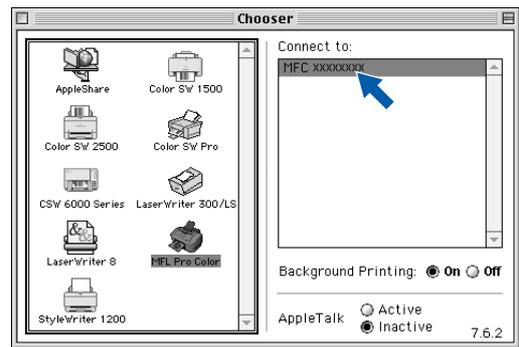
5 Macintosh® を再起動する

◆ Macintosh® が新しいドライバを認識します。

6 本機（MFC-150CL/CLW）と Macintosh® を USB ケーブルで接続する

まず、Macintosh® に USB ケーブルを接続します（①）。次に、本機（MFC-150CL/CLW）に USB ケーブルを接続します（②）。（USB ケーブルは別売り品です。）

7 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントに接続する

◆ 本機に電源が入ります。

8 「アップルメニュー」から「セレクタ」を選ぶ

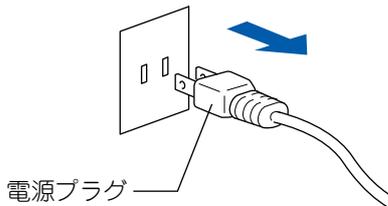
9 「MFC Pro Color」を選ぶ

10 「セレクタ」の右のウインドウに表示されたプリンタ名を選ぶ

11 「セレクタ」を閉じる

「MFC ドライバ」のインストールが終わりました。

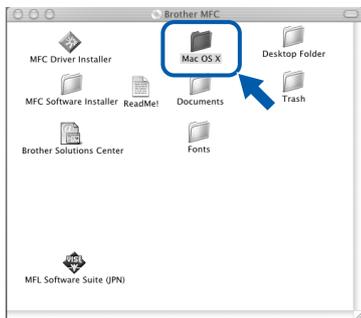
「MFC ソフトウェアをインストールする」（39 ページ）へ

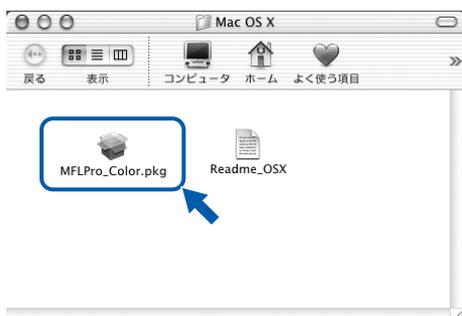
B) Mac OS X 10.1 ～ 10.2 の場合

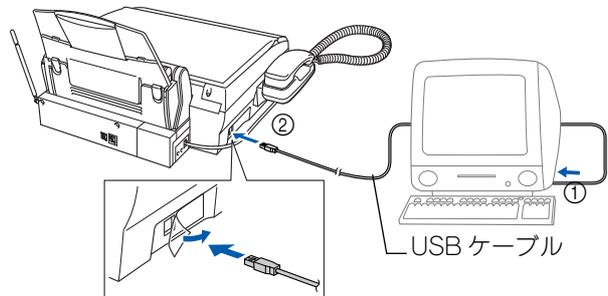
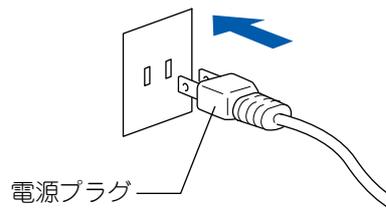
ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

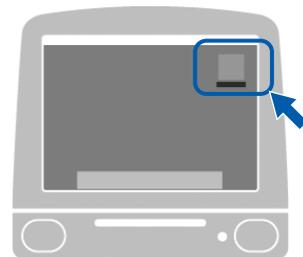
1 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントから外す

2 Macintosh® の電源を入れる

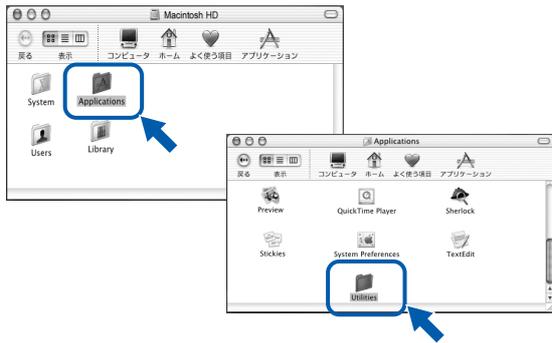
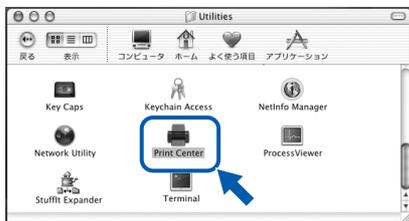
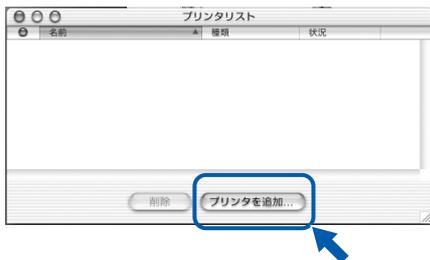
3 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

4 「Mac OS X」をダブルクリックする

5 「MFL Pro Color.pkg」をダブルクリックする

画面の指示にしたがってインストールします。

6 本機（MFC-150CL/CLW）と Macintosh® を USB ケーブルで接続する

まず、Macintosh® に USB ケーブルを接続します（①）。次に、本機（MFC-150CL/CLW）に USB ケーブルを接続します（②）。（USB ケーブルは別売り品です。）

7 本機（MFC-150CL/CLW）の電源プラグをコンセントに接続する

◆ 本機に電源が入ります。

8 「Macintosh HD」アイコンをダブルクリックする

STEP1 パソコンに接続する（Macintosh® の場合）
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコンに接続する（Windows® の場合）
STEP3 パソコンに接続する（Macintosh® の場合）

9 「Applications」フォルダをダブルクリックし、続けて「Utilities」フォルダをダブルクリックする

10 「Print Center」アイコンをダブルクリックする

11 「プリンタを追加...」をクリックする

12 「USB」を選ぶ

13 「MFC-150CL」を選び、「追加 」をクリックする

14 「Print Center」メニューから「Print Center を終了」を選ぶ

3 MFC ソフトウェアをインストールする

「MFC ドライバ」のインストールが終わると、パソコンは再起動されます「MFC ドライバ」のインストールと同様に、「MFC ソフトウェア」をインストールします。

お願い

■ インストールに関する問題が発生した場合は、「http://solutions.brother.co.jp」にアクセスしてください。

MFC ソフトウェアのインストール

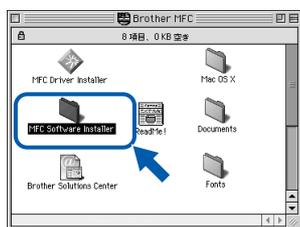
以下の手順で付属のソフトウェアをインストールします。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

◆ OS を選択する画面が表示されます。

お願い

■ 画面が表示されないときは、デスクトップから CD-ROM ドライブをダブルクリックしてください。

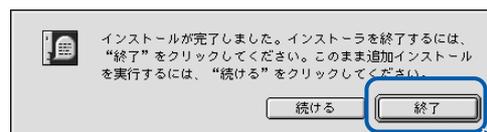
2 「MFC Software Installer」をクリックする

3 Installer をクリックする

A) Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合

「NewSoft Installer 」をクリックする

B) Mac OS X 10.1 ～ 10.2 の場合

「NewSoft Installer_OSXJ 」をクリックする

4 [終了] をクリックする

◆ 付属ソフトウェアのインストールを終わります。

付属ソフトウェアのインストールは終了です。本機を、パソコンのプリンタやスキャナとして使用できます。

「MFC ソフトウェア」のインストールが終わりました。
本機で MFC ソフトウェアをお使いいただくことができます。

「この続きは…」(40 ページ)へ

STEP1 パソコンに接続する(Macintosh® の場合)

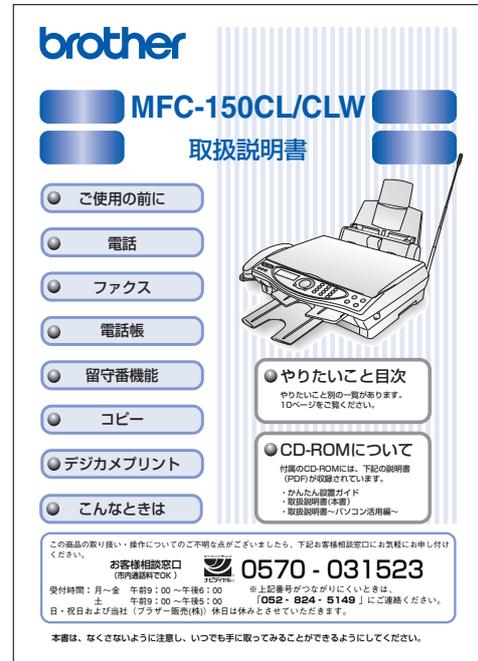
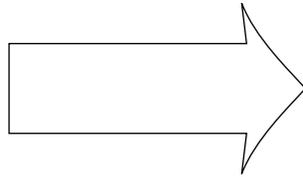
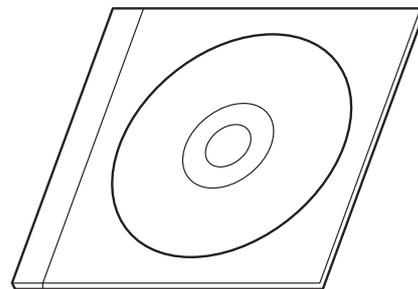
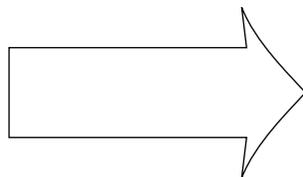
STEP2 設置・接続する

STEP3 パソコンに接続する(Windows® の場合)

STEP3 パソコンに接続する(Macintosh® の場合)

この続きは…

ここまでの操作で、本機を使用するための準備が終了しました。本機をお使いいただくときは、目的に合わせて必要な取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

●ご使用の前に
●電話
●ファクス
●電話帳
●留守番機能
●コピー
●デジカメプリント
●こんなときは

●プリンタ
●スキャナ
●PC－FAX
●フォトメディアキャプチャ
●リモートセットアップ
●コードレスPCハンドセット

■ 取扱説明書を閲覧するには

CD-ROM に収録されている取扱説明書を見たいときは、以下の手順で操作します。

(1) 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデル名を選択する画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。

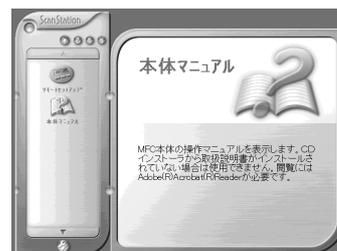
◆ メイン画面が表示されます。

(2)「取扱説明書閲覧」をクリックする

◆ 取扱説明書を選択する画面が表示されます。

(3) 見たい取扱説明書をクリックする

◆ 取扱説明書が表示されます。

インストールが完了したあとは、「ScanStation」から取扱説明書を見ることもできます。
「ScanStation」から取扱説明書を見るときは、「ScanStation」を起動させ［本体マニュアル］をクリックします。

閲覧には「Adobe® Acrobat® Reader 」が必要です。CD－ROM の［インストール］－［ボーナスソフトウェア］からインストールすることができます。

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様相談窓口】	【付属ソフトウェア ScanStation & Presto! ImageFolio お問い合わせ窓口】	【消耗品のご注文窓口】
TEL ：ナビダイヤル 0570-031523 （052-824-5149） 受付時間： 月～金　午前 9：00 ～午後 6：00 土　　　午前 9：00 ～午後 5：00 日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日はお休みとさせていただきます。	ニューソフトジャパン株式会社 ニューソフトカスタマーサポートセンター TEL ：03-5472-7008 FAX ：03-5472-7009 受付時間　午前 10：00 ～ 12：00 　　　　　午後 1：00 ～ 5：00 （土日・祝日を除く） テクニカルサポート電子メール： support@newsoft.co.jp ホームページ： http://www.newsoft.co.jp	ブラザー販売（株） 情報機器事業部　ダイレクトクラブ 〒 467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1 TEL ：0120-118-825 （土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 17 時） FAX ：052-825-0311 ホームページ： http://www.brother.co.jp/direct/ ・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。 ・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAX にてご注文いただく場合は、取扱説明書の「ご注文シート」を印刷してご活用ください。

※ 取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口 0570-031523 」にご連絡ください。

商標について

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple 、Macintosh は、アップルコンピュータ社の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。

LF0965001②
Printed in Malaysia